

世界自然遺産5地域会議
大阪・関西万博参加事業
催事基本計画（概要版）

令和7年4月

世界自然遺産5地域会議 事務局

1. 計画の基本事項

【計画概要】

5 地域会議が大阪・関西万博で実施する事業の計画概要は以下のとおりであり、5 月 6 日（火）と 6 月 5 日（木）に設定された 2 つの枠組みの下で参加する。

世界自然遺産 5 地域会議と大阪・関西万博への参加

◇ 5 地域会議が目ざすものと万博参加の位置づけ

- ・世界自然遺産 5 地域会議では、全世界に対して日本の世界自然遺産への理解を深め、日本型の自然保護の考え方や仕組みを発信していくことを目指しています。
- ・5 地域で進めている自然と共生した地域活性化の取組みについて、日本国内だけでなく、全世界、とりわけ途上国の理解促進を図りたいと考えています。
- ・このため、5 地域会議としては、直近、かつ格好の機会として大阪・関西万博に参画することを位置づけています。

万博では、世界自然遺産に登録された日本の 5 つの地域の大型自然映像の上映やそれにちなむ著名人トーク、芸能パフォーマンス、郷土芸能などを披露するとともに、世界の有識者が日本の自然について語る国際シンポジウムを開催します。
これらを通じ、日本の世界遺産の限りなく多様な魅力と「共生」や「環境文化」という日本型自然保護のメッセージを発信します。

- ・この催事を 5 地域関係者が共に作り、催行することは、これまでなかった共同作業です。
- ・企画の詰め、出演・出展準備の調整、共同での費用負担の検討などを通じ、相互の地域課題への認識を深め、連帯や結束を強化する意味もあると考えられます。

■万博「共創チャレンジ」と 5 地域会議

2025 年日本国際博覧会（略称：大阪・関西万博）では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、これを実現するために、様々な個人・団体の参加を募っている。

2005 年「愛・地球博」の理念継承事業を行っているイベント学会（中村利雄会長）と一般財団法人地球産業文化研究所（GISPRI）は、「歴史文化」「水と流域」「自然遺産」をテーマとする 3 つの取り組み（「共創チャレンジ」）と協働して万博に参加し、資金、技術・ノウハウ、情報発信等の面でサポートを行うこととしている。

「世界自然遺産 5 地域会議」は、これに呼応するかたちで、世界遺産地域 22 市町村及び 2 公益財団法人が 2023 年 1 月屋久島に集まり、発足させたものである。

世界自然遺産 5 地域会議／万博参加の計画

5 地域会議の参加の枠組み

万博開催期間：2025 年 4 月 13 日（日）～10 月 12 日（日）

会 場：大阪夢洲



A.「テーマウィーク」枠

博覧会協会が主催する、8 つの社会課題解決をテーマに掲げた事業。そのうち「未来への文化共創」ウィーク = 4/26(金)～5/6(火) の 1 日に参加。

【開催日：2025/5/6(火)】

【場所：テーマウィークスタジオ】 70 席

B.「一般参加催事」枠

博覧会協会が、未来創造への挑戦となる参加型、発表型、展示型イベントの企画を一般から募集したのに対し、5 地域会議が応募し採用されたもの。

【開催日：2025/6/5(木)】

【場所：EXPOホール(シャインハット)】 1800 席

参加のねらいで3つの目標を掲げ、催事テーマとしては6月5日の「千の自然・千の時間」が中心になる。

主催組織等については、イベント学会と地球産業文化研究所が共催に名を連ね、資金面、情報提供等の面でサポートを受けている。また、環境省、林野庁に後援いただくよう現在、申請中である。

世界自然遺産5地域会議／万博参加の計画

事業実施内容

5地域会議万博参加事業の概要

■実施時期

- ・万博催事：2025年（令和7年）5月6日、6月5日
- ・参加準備：2023年6月～（博覧会協会への登録など）
- ・催事準備：2024年11月19日～

■実施体制

世界自然遺産地域の23市町村、2公益財団が「5地域会議」として大阪・関西万博に登録し、共同で各種の事業を推進。

趣旨に賛同する民間企業や活動団体等の参加も想定。

■参加のねらい

以下の目標のもと、日本の世界自然遺産5地域の多様な自然や文化を総合的に紹介、アピールするとともにシンポジウム等で議論を行う。

- ①暮らしと自然保護の「両立モデル」の提示
- ②遺産地域の抱える課題を国内外へ周知
- ③国や企業等への提言、国内外へメッセージ発信

■催事テーマ

- ・5月6日：『地球市民』が実現する持続可能な社会への提言』（3団体で調整）
- ・6月5日：『千の時間・千の自然—私たちと世界自然遺産5地域』

■主催組織等

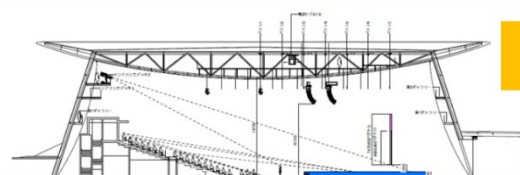
- ・名称：世界自然遺産5地域会議
- ・設立：2023年（令和5年）1月
- ・代表：小野寺 浩（公益財団法人 屋久島環境文化財団 理事長）

※共催：イベント学会・一般財団法人地球産業文化研究所

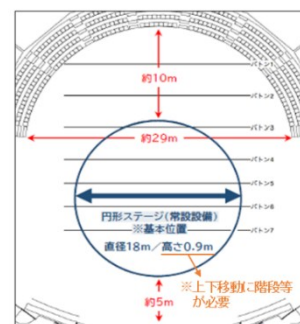
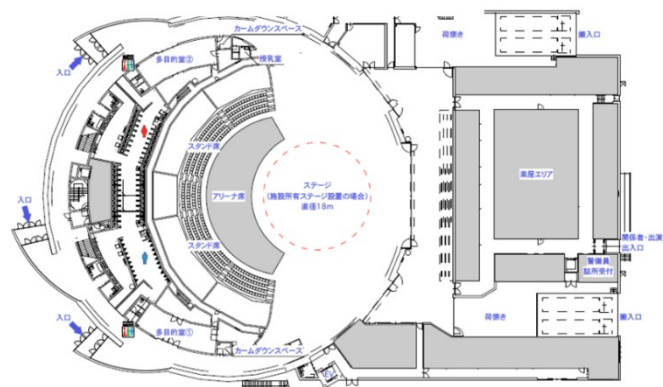
イベント学会と地球産業文化研究所（GISPRI）は、2005「愛・地球博」の理念継承事業実施団体であり、大阪・関西万博では「共創パートナー」に登録。「共創チャレンジ」に登録された、5地域会議による当プロジェクトを、資金面、情報提供等の面でサポートしている。

6月5日の催事の会場である EXPO ホールは、1800 人収容の大きな施設で、直径 18m の円形ステージがある。そこに高さ 7～8m の大きなスクリーンがある。楽屋などバックヤードもしっかりしている。

会場〔6月5日〕EXPOホール（シャインハット）



ステージ図
(1800人収容)



床荷重…500Kg/m²
床材……コンクリート

事業の中身としては、以下のとおり大きく①～③に3区分される。②③は「一般参加催事」を指し、会場がEXPO ホール（シャインハット）であるため「EXPO ホール催事」とも呼んでいる。

世界自然遺産 5 地域会議／万博参加の計画

催事の構成

① テーマウィーク催事5/6：

万博協会側が設定した「未来への文化共創」ウィークの5月6日（火）に、共創プロジェクトチームの一つとして参加するトークセッション。

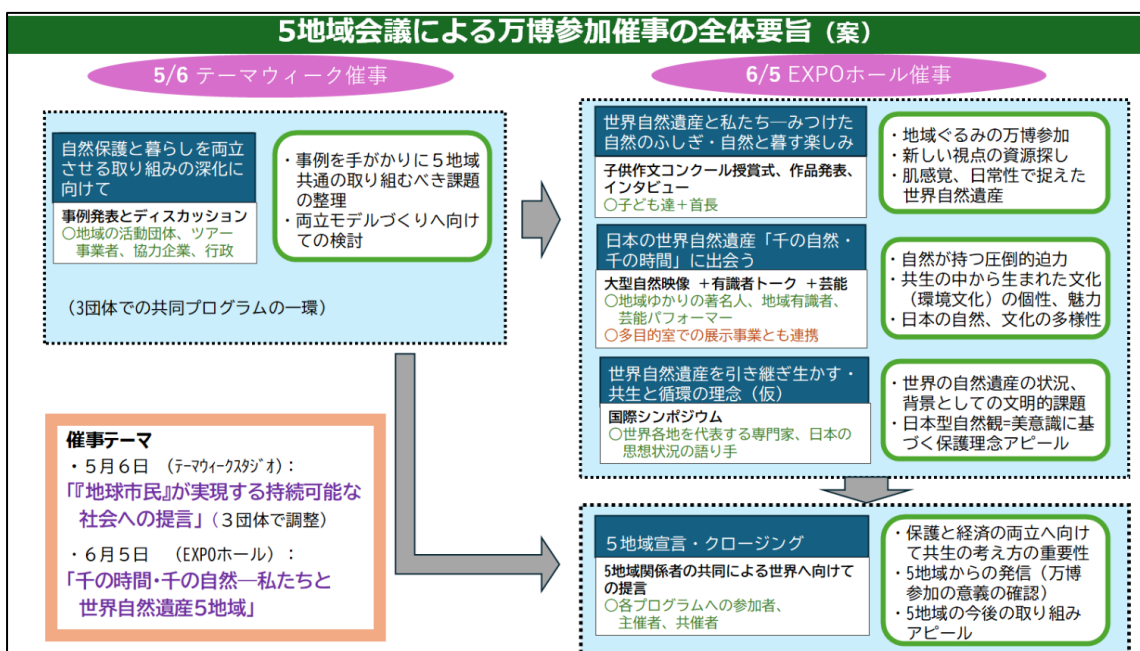
② EXPOホール催事6/5 ステージプログラム：

EXPOホール（シャインハット）のステージで6月5日（木）に実施するプログラム。「千の自然・千の時間 —— 私たちと世界自然遺産 5 地域」
 - プログラム 1：子供作文コンクール
 - プログラム 2：地域紹介／大型映像・トーク・芸能パフォーマンス
 - プログラム 3：国際シンポジウム
 - プログラム 4：5 地域提言・クロージング
 で構成する。

③ EXPOホール催事6/5 展示事業：

EXPOホール（シャインハット）の「多目的室」2か所で6月5日（木）に実施する展示事業。5 地域の多様な自然と文化の魅力を紹介。

②EXPO ホール催事・ステージプログラムは、さらに4つのセッションで構成する。これら全体の関係を催事ごとのテーマ、各セッションごとのテーマ、実施内容、ねらいとして示すと、以下のようになる。



【環境配慮計画】

環境に与えるリスクの低減を図るとともにポジティブな効果の広がり、環境・社会・経済の分野にてレガシーを残すことを目的に、大阪・関西万博参加事業において持続可能な運営を実現するため、環境配慮の理念を踏まえた以下の方策を実施する。

（１）企画段階における環境負荷の把握

基本計画立案にあたり、本事業における環境負荷の把握・特定を行うとともに下記

（２）のチェックリストの適用を選定する。これらを踏まえて、開催に伴い発生する環境負荷の低減対策を検討し、可能な限りの対策を盛り込んだ実施計画を策定する。

また、イベント参加者に対して設定した環境配慮への取組の協力を要請する。

（２）環境配慮チェックリストの活用

環境省『イベントにおける環境配慮ガイドライン【プレミアム基準策定ガイドライン別冊】』の環境配慮チェックリストを活用のうえ事業を実施する。なお、同資料「7 イベントガイドライン」及び2025年日本国際博覧会『EXPO ホール「シャインハット」利用ガイド（第2版）』及び（2019（令和元）年9月）に基づいて取り組む。

（３）博覧会協会の定める「持続可能性の取り組み」の遵守・推進

（２）のほか、2025年日本国際博覧会『EXPO ホール「シャインハット」利用ガイド（第2版）』の「IV 催事細則」「19) 持続可能性の取り組み」に定められている以下の項目も踏まえて本事業を実施する。

- ・持続可能性に配慮した調達コードの遵守
- ・3R+Renewable の推進
- ・プラスチック製品の使用抑制と環境への流出の削減
- ・脱炭素に関する取り組み

（４）評価

基本計画及び実施計画に基づき、イベント中及び終了後に実施結果及び調達目標の達成状況に係る評価（（２）環境配慮チェックリストの実施状況等の評価）を行うとともに、以後に向けた改善についての検討を行う。

2. テーマウィーク催事「自然保護と暮らしを両立させる取り組みの深化に向けて」

【実施内容】

テーマウィーク催事は70㎡程度の「テーマウィークスタジオ」と呼ばれる施設において、世界自然遺産5地域会議（「自然遺産チーム」）のほか「水と流域チーム」「歴史文化首都」の計3団体共同で行う。5地域会議の持ち時間は2時間。事例発表、地域課題について各地域、企業、有識者でディスカッションする。

世界自然遺産5地域会議が参加する 大阪・関西万博 テーマウィーク催事概要(案)

2025年5月6日(火)

共創チャレンジ3団体※での共同プログラム。博覧会協会が設定しているテーマウィーク「未来への文化共創」ウィークの一環として実施。
各団体からの発表と、その後の総括セッション(有識者クロストーク)で構成予定。一般向けというより、オンライン番組の公開収録的なイメージ。

- ・タイトル:『「地球市民」が実現する持続可能な社会の提言』
- ・主催:イベント学会 共催:「(一財)地球産業文化研究所、5地域会議ほか」
- ・日時:5/6(火)9:30-20:30(準備・撤収含む)
- ・場所:万博会場内テーマウィークスタジオ(170㎡)
- ・形態:3団体からの事例発表、有識者によるクロストーク等
- ・観客席:約70席

■世界自然遺産5地域会議からの報告/基本方針

- ・タイトル:「自然保護と暮らしを両立させる取り組みの深化に向けて」
- ・5地域が取り組んできた、「自然保護と暮らしの両立」についての課題をテーマとした事例を発表
- ・有識者や企業、活動団体よりゲストを招き、事例や課題感に対し、各々の立場からのアドバイスを取組みなどを紹介しながら、今後の展開について議論し、解決方法や連携方法などを探る

■取り組み事例報告案

- ～固有の自然を生かした地域振興を基本に～
- ①持続可能な利用のための観光管理
 - ②多様な主体の参加促進と協働

[タイムテーブル]

10:30-12:30 自然遺産チーム発表
12:30-13:30 インターバル
13:30-15:30 水と流域チーム発表
15:30-16:30 インターバル
16:30-18:45 歴史文化首都発表
18:45-19:45 インターバル
19:45-20:15 総括セッション

※他2団体についての紹介

①関西・歴史文化首都フォーラム:
関西各地に集積された有形無形の「歴史文化」を世界にPR発信。関西を構成する2府4県(滋賀県/京都府/大阪府/兵庫県/奈良県/和歌山県)にて、「関西・歴史文化首都フォーラム」を開催しており、その集大成として2025年は万博会場にて事業展開を計画。
②いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話:
愛・地球博の理念継承と発展のための活動の一つとして、「水と流域」をテーマに持続可能な社会づくりの方法を議論し、地球市民対話を通してSDGsの達成とその先のワクワクする未来づくりをめざす。

「自然保護と暮らしを両立させる取り組みの深化に向けて」構成案

世界自然遺産5地域会議 2025年5月6日 10:30-12:30

日本の世界自然遺産地域では、人口減少や産業の停滞、外からの観光への圧力などの問題を抱えながら、世界遺産として評価された自然の保護と地域の経済・社会の活性化とを両立させるための取り組みを進めてきた。世界自然遺産5地域会議では万博参加を機に、これまでの実績を踏まえて「自然保護と暮らしの両立」モデルを提示することを目指している。

ここでは、「両立」をめぐる現在各地域が共通して直面している課題について、先進事例の報告を受けながら、様々な立場と観点から意見交換を行う。この議論を通じ、「両立」のための仕組み・条件や「両立モデル」のイメージについて手がかりをつかむ。

項目	内容	時間 (計120分)	登壇者候補 (敬称略)
導入	-5地域の自然を紹介する映像 -テーマ、メンバー紹介	10分	モデレーター:田中 俊徳(九州大学准教授・環境政策・ガバナンス論/ユネスコ本部世界遺産センター研修員を経験)
話題提供 (事例報告)	①「持続可能な利用のための観光管理」(西表) ②「多様な主体の参加促進と協働」(知床)	30分 (@15分×2)	①:徳岡 春美(一般財団法人西表財団 事務局長) ②:山本 幸(公益財団法人知床財団 事業部長)
ディスカッション	各地域から自地域での取り組みを紹介しながら、取り組み主体の属性を踏まえた意見発表・交換	70分	行政、地域の観光関係事業者、支援企業から計5名 ・斎藤 栄作美(秋田白神ガイド協会会長) ・渋谷 正昭(小笠原村村長) ・則久 雅司(九州地方環境事務所) ・洲上 奈央子(ダイキン工業株式会社 CSR・地球環境センター) ・中山 洋彦(世界自然遺産推進共同体代表、JAL鹿児島支店長) *モデレーター:田中 俊徳
コメント	5地域会議のミッションに即した論点整理	5分	コメンテーター:小野寺 浩(屋久島環境文化財団理事長・5地域会議代表)
まとめ	全体のまとめ	5分	モデレーター:田中 俊徳

3. 一般参加催事「千の自然・千の時間——私たちと世界自然遺産5地域」

本催事では、世界自然遺産に登録された日本の5つの地域の大型自然映像の上映やそれにちなむ著名人トーク、芸能パフォーマンス、郷土芸能などを披露するとともに、世界の有識者が日本の自然について語る国際シンポジウムを開催し、日本の世界遺産の限りなく多様な魅力と「共生」や「環境文化」という日本型自然保護のメッセージを発信する。

プログラム全体構成(案)			開催：2025年6月5日 11:00～18:30		
開始	終了	所要(分)	プログラム	催事の内容	時間配分・登壇者等
10:00	11:00	60	開場・観客誘導		
11:00	12:00	60	プログラム 1	「世界自然遺産と私たち ―みつけた！自然のふしぎ・自然と暮らすたのしみ（子供作文）」 （代表作品発表と授賞式、冒頭に5地域の大型自然映像上映）	・総合司会：有働由美子 ・大型自然映像：TBS番組「世界遺産」の映像を再編集したもの（プログラム2-1も同様） ・受賞作品作者小・中学生、選考委員が登壇
12:00	12:15	15	休憩・準備		
12:15	14:30	135	プログラム 2（※）	「日本の自然遺産『千の自然・千の時間』に出会う」 2-1 5地域（知床、白神山地、小笠原諸島、屋久島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島）の映像・トーク（地域ごとの大型自然映像＋ゆかりの著名人等）	・各地域冒頭に大型自然映像5分上映（奄美、沖縄は2.5分） 次に俳優、タレント、地域有識者等が登壇し地域紹介 【知 床】20分：村田良介（知床財団理事長） 【白神山地】36分：南圭介（タレント、白神山地発信アパ'サタ-） 【小笠原】21分：川上和人（森林総合研究所鳥獣生態研究、NHK子ども科学電話相談回答者） 【屋 久 島】21分：中馬慎一郎（屋久島公認ガイド） 【奄 美】18.5分：平城達哉（奄美博物館学芸員） 【沖 縄】18.5分：仲間由紀恵（俳優、世界自然遺産大使） ※知床を除く各地域は1分の準備・撤収時間を含む
14:30	14:45	15		休憩・準備	
14:45	16:20	95		2-2 芸能パフォーマンス （5地域で生まれ育まれた、さまざまな芸能・文化の出会い）	・各地域からの歌い手、踊り手グループが登壇 【白神山地】30分：藤琴豊作踊り（志茂若郷土芸術会） 【小笠原】20分：弾き語り（Okey+松永希） 【屋久島】20分：楠川盆踊り（楠川盆踊り保存会） 【奄美沖縄】25分：島唄・八月踊り（里朋樹+関西奄美会） ※各地域5分の準備・撤収時間を含む
16:20	16:30	10	休憩・準備		
16:30	18:00	90	プログラム 3	国際シンポジウム 「世界自然遺産を引き継ぎ生かす・共生と循環の理念（仮）」 （地球環境危機の時代、文化と科学が共鳴しあう新たな環境倫理の下でのパラダイムシフトに日本の世界自然遺産が果たし得る役割を問う）	・進行：有働由美子 ・モデレータ：山極壽一（総合地球環境学研究所所長） ・パネリスト：ラマン・S（インド/象と人間との共存） K・B・ストライア（米/ブラジル霊長類研究） 西村明（東京大学教授/宗教学・文化資源学） 小野寺浩（5地域会議代表）
18:00	18:30	30	プログラム 4	5地域提言・クロージング （日本固有の多様な自然の魅力とそれを維持してきた人々の富み、共生の理念、保護の仕組みを国内外に発信）	・5地域会議会員（出席首長全員） ・5/6トークセッションモデレータ（九州大学 田中俊徳） ・シンポジウム登壇者 ・地域紹介ゲスト、地域パフォーマー ・共催者代表
18:30	21:00	180	撤収		※メインステージ、多目的室等の撤収

*旧プログラム2-1「5地域イントロダクション」はプログラム1と合併

注）各プログラムの内容の詳細については別紙参照

展示事業

【計画概要】

ホール内にある多目的室を使用し展示を行う。各地域から映像ソフトも含む展示物を持ち寄って、地域の自然、文化を紹介。展示台や壁面は事務局側で作成する。

2つの部屋をあわせて6エリアに区分。壁面は写真やイラストからなるパネルで構成。内容については各地域が企画し、縁のあるクリエイター等による協力も想定する。

展示事業（多目的室活用）概要

日本の世界遺産地域にみる超絶・自然の価値と環境文化

—知床、白神山地、小笠原諸島、屋久島、奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島—（仮）

EXPOホール(シャインハット)

2025年6月5日(木)

10:00~18:00

■趣旨・目的

世界自然遺産5地域から持ち寄った物品や映像等を展示するとともに、地域関係者による観光案内や地域活性化の活動紹介のコーナーも併せて設け、5地域それぞれが有する独自の自然の価値や環境文化の特徴について来場者に伝える。

■展示方針

—2か所の多目的室(1か所約70㎡)を5つの遺産地域エリア(「知床」、「白神山地」、「小笠原諸島」、「屋久島」、「奄美・沖縄」)に区分

—エリア毎に各地域の自然と環境文化を示す共通仕様の壁面パネルを設置。パネル制作は各地域にゆかりのクリエイターに協力を依頼

—5地域会議会員が該当するエリアに映像、模型、物産、チラシ等を持ち寄り展示

—各室に1か所の「案内コーナー」(仮称・計2カ所)では、地域関係者が交替で全体案内と自地域の観光案内や地域活性化の活動紹介等を行う。

■出展までの流れ

- ①会場配置・設営計画の提示
- ②各会員からの出展希望展示物の形状・内容・数量の提示
- ③連絡・調整、詳細配置計画の確定
- ④展示物等の運び込み

■展示物制作・運営の役割分担

項 目	会員市町村	事務局
展示会場の装飾看板、案内ブース、展示台、映像用モニター等の設営（制作・レンタル・搬入）		●
展示物（ポスター、チラシや物品、物産など）、映像ソフトの準備（制作・搬入）・設置	●	
壁面パネルの制作・設置（5地域に共通して設置し、各地域の環境文化を表示）	● 作者への依頼等	●
案内コーナーに配置する案内人等の選任、派遣	●	時間配分などの調整

EXPOホール内 多目的室の位置

